

新年のご挨拶

—FFGの新たな「理念体系」と「長期戦略」について—



株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ 取締役社長

株式会社 福岡銀行 取締役頭取

五島 久

明けましておめでとうございます。

皆さまには日頃から傘下の子銀行をはじめとするふくおかフィナンシャルグループ各社をご愛顧いただき、ありがとうございます。

本年も、皆さまにとって最も信頼される金融グループであり続けるため、役職員一同、精一杯努力します。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、昨年を振り返れば、私自身の長年のテーマであった「FFGの好循環」と「社員の好循環」、それをつなぎ合わせるための「理念体系」を整えることができました。(図1)

具体的には、これまで私たちが大切にしてきたブランドスローガン「あなたのいちばんに。」を“価値観”として再定義し、“存在意義”を「一歩先を行く発想で、地域に真のゆたかさを。」として新たに定めました。そして、この二つを最上位の「概念」と位置づけ、その発揮に向けた価値創造ストーリーとして10年間の「長期戦略」を、そして、これらの先にある“創りたい社会”を「経済的・物質的・精神的にゆたかな地域社会」と定めました。(図2)

私が社長就任当初から思い描いていた、すべてのステークホルダーの皆さんに共感いただくための“未来への物語り”が、FFGの「理念体系」と「長期戦略」としてようやくカタチになり走り出しました。

FFGの「理念体系」

“物語り”の根幹ともいえるFFGの「理念体系」についてお話しします。

わたしたちの価値観「あなたのいちばんに。」

FFGを設立(2007年)以来ここまで、私たちの志(ブランドスローガン)として社員全員で大事に育ててきました。大切な“あなた”である全てのステークホルダーにとって、「いちばん身近で、頼れて、先を行く」存在でありたいという想いです。これからも「わたしたちの価値観」として、日々意識し、実践します。

FFGの存在意義「一步先に行く発想で、地域に真のゆたかさを。」

■存在意義の前段「一步先に行く発想」

FFGがこれまでの歴史で培った強み・ユニークさです。「FFGらしさ」と言っても良いでしょう。お客さまや地域の未来を考え伴走する姿勢、常に変化を先取りして先進的な取り組みにチャレンジする企業風土です。

■存在意義の後段「地域に真のゆたかさを。」

私たちの地域への貢献であり、「FFGは何のために存在し、何を為すのか?」という根源的な問いに対する答えです。

私たちが人生において最終的に求めるものは、多くの人が「幸せ」と答えると思います。経済的な不安がなく、物やサービスが満ち足りる暮らしの中で、心ゆたかに日々を送る。そんな「幸せ」を、誰もが実感できる。これが「**真のゆたかさ=経済的・物質的・精神的ゆたかさ**」の意味であり、私たちが為すべき地域への貢献です。

理念体系を伝える「ブランドブック」

これらのFFGの「理念体系」を社員一人ひとりが“自分事”として捉えてもらうためにブランドブックを作りました。FFGの理念体系を共有し、日々の判断や行動の「よりどころ」に。そして、ここに記された“未来への物語り”を自分の成長と重ねあわせ、すべてのステークホルダーの幸せに貢献しようと努力することが、ゆたかな地域社会の実現をもたらすものと確信します。



ブランドブック(イメージ)

FFGの長期戦略

「長期戦略」は、存在意義の発揮、つまり地域の「真のゆたかさ」実現に向けた10年間のロードマップ（成長戦略）です。環境変化とそれに伴う地域への影響を踏まえて、私たちが能動的に解決に取り組むべき重要課題をマテリアリティとして定義しました。マテリアリティは、「地域の産業振興」「人生100年時代への対応」「デジタル社会への対応」「気候変動への対応」の4つです。これらのマテリアリティを解決するために、金融サービスにとどまらず、GXやDX、スタートアップ支援などを通じて新たな価値を創造し、地域社会の持続的成長に貢献します。

地域の皆さまが「幸せ」を実感しながら日々を送る。そんな「真にゆたかな社会」をステークホルダーの皆さまと一緒に創りたいと思います。

今年も、「地域の産業振興」と皆さまの「ゆたかな生活の後押し」に貢献するべく、役職員一同積極的に活動します。どうぞよろしくお願ひいたします。

図1.「企業の好循環」と「個人の好循環」、それをつなぐ「理念体系」

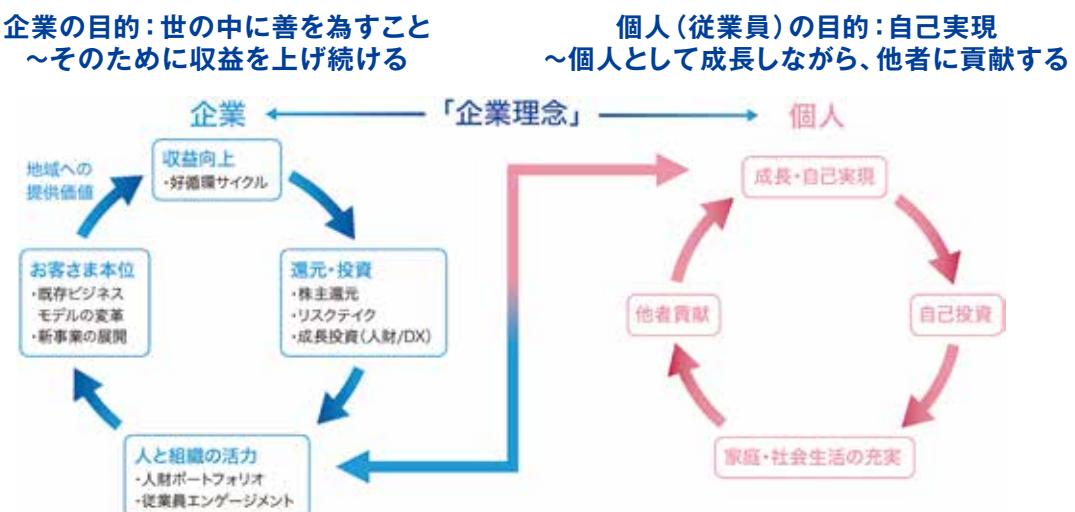


図2.創りたい社会とFFGの事業活動

